

安全技術応用研究会のご案内

人の安全確保と生産性の向上を推し進めて産業界の
一層の繁栄を図るために、生産現場の安全を理論と技術
で向上させる活動を行っています。

産・官・学による 現場に即した機械安全を 理論で追求

安全技術で、リスク低減の実現

当会は1992年11月に発足して以来、生産現場の機械設備で生じる災害撲滅に向けての技術的対応を四半世紀にわたって研究してきました。発足当時と比べてみると、労働災害での死者数は約2,300人から1,000人を大きく下回るまで減少しましたが、労働災害の実体を示す労働災害保険受給者数は依然として69万人という大きな数字です。被災された方、そのご家族のことを考えますと、一人でも少なくなるように不断の努力が欠かせません。この労働災害の原因を分析すると、技術で防げる労働災害がかなりあることに気づかされます。

当会にとって、この問題に真摯に向き合い、解決策を提示して、活用していただくことが使命であろうと考えます。

機械安全専門家との交流の場

そのために求められる技術に関する研鑽の場が本会でありましたし、これからも最も大切にしていかなければなりません。

私たち安全技術応用研究会は、理にかなった安全、つまりなぜよいのかを説明できる安全の確立、言葉を代えれば「**普遍性のある安全の確立**」を目指して参りたいと思います。このことが、機械などによる事故・災害を根本的に減らすのみならず、生産性も向上することにつながると確信しています。

安全技術応用研究会が、会員にとって有用な会であると共に、日本の安全のためにも有用な会であることを目標に活動して参ります。

一般社団法人 安全技術応用研究会
会 長 増田 義典

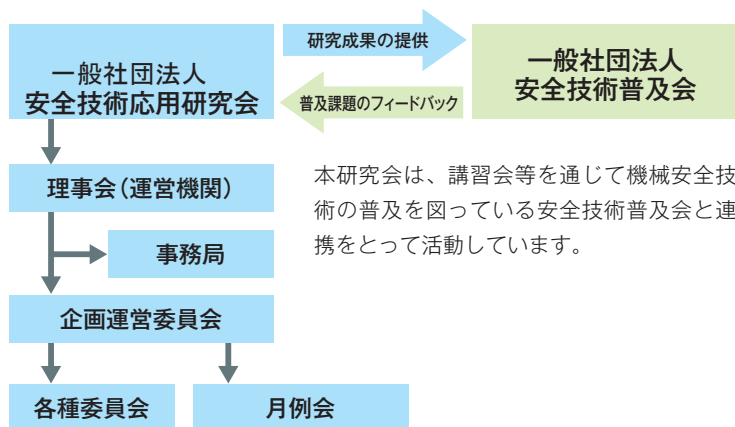
沿 革

- 1992年(平成4年) 「安全技術応用研究会(SOSTAP)」発足
- 1993年(平成5年) 月例会の開催を開始
- 1995年(平成7年) 日本プラントメンテナンス協会より研究委託で、会員各社の安全の取り組み「安全への新たなアプローチ」編著
- 1996年(平成8年) 中央災害防止協会より雑誌「安全」への執筆(1年間) 研究委託
初代会長 : 東京農工大学 仁田周一 教授
- 2000年(平成12年) 「国際化時代の機械システム安全技術」の編著:
日刊工業新聞より発行
- 2001年(平成13年) 「国際規格対応安全システム構築総覧」編著
第2代会長 明治大学 向殿政男 理工学部 学部長
月例会100回記念行事
- 2002年(平成14年) 安全技術普及を目的とした定期講習会開始
関西地区会員による専門委員会の開設

- 2004年(平成16年) セーフティアセッサー認証制度に基づく講習と能力
審査試験を外部認証機関と連携で開始
- 2008年(平成20年) 経済産業省「機械安全技術の普及促進事業」への協力
- 2009年(平成21年) 第200回記念月例会
- 2016年(平成28年) 第3代会長 長岡技術科学大学 福田隆文 教授
(一社)安全技術普及会(D-SOSTAP)設立
- 2017年(平成29年) 「機械安全エンジニア(MSE)資格制度」を創設
2017年度安全工学シンポジウムにて研究成果発表
- 2018年(平成30年) 第300回記念月例会
2018年度安全工学シンポジウムにて研究成果発表
- 2020年(令和2年) WEBシステムによるリモート活動の開始
- 2021年(令和3年) 第4代会長 長岡技術科学大学 杉本旭 名誉教授
- 2023年(令和5年) 第5代会長 職業能力開発総合大学校 中村瑞穂 教授
- 2024年(令和6年) 一般社団法人安全技術応用研究会に
- 2025年(令和7年) 第6代会長 増田義典

安全を理論と技術で追求し、生産現場をサポート

組織



活動概要

安全技術応用研究会は、産業設備・機械等のメーカー、ユーザー企業や官、学の有志等、様々な業種の企業、団体が構成されています。安全技術に関して最先端の知識・技術を有する専門家も多数会員であり、月例会活動、専門委員会活動等を通して最新情報の報告・解説、安全技術の研究・応用を行っています。これに加え、異業種の会員が意見交換を行うようにすることで会員の安全技術向上を図っています。

01 月例会活動(東京と大阪で毎月1回開催)

会員や安全に係わる専門家が参加して、研究発表や機械安全に関する国内外の規格や法令をはじめとした最新情報の提供や討論を行う等、安全に関連する情報交換の場です。また、異業種の会員が交流する場としても重要な役割を果たしています。

02 専門委員会活動

会員の要望なども含め、生産現場の安全に必要なとされる特定テーマを取り上げて研究する委員会活動です。研究成果は研究報告書にまとめ、月例会等で報告するとともに公表も行っています。

- ・国内外の関連官庁及び関連団体との連携活動
- ・安全技術及び応用技術に関する普及団体に対する支援活動
- ・その他、会員企業等の工場見学会や技術交流会

研究成果

安全技術応用研究会では、設立から今日まで様々な研究活動を通して、機械安全に係わる多くの研究成果を生み出してきました。

- ・「リスクアセスメントに関する考察」
- ・「ガードとインタロック」研究報告書
- ・「災害事例とその対策」
- ・「電気安全技術チェックリスト」研究報告書
- ・「安全技術講習会テキスト」
- ・「“しくみ”を用いた安全確認型システム」

入会案内

産業設備・機械等のメーカー、ユーザー企業や官、学それぞれの分野から多くの皆さんに参加いただき、本研究会活動を更に拡充していきたいと考えております。

本研究会の趣旨にご賛同される皆様の入会をお待ちしております。入会に関しては当会HPの入会案内を参照下さい。本入会の前にオブザーバー参加の方法も用意しておりますので、お気軽にご相談下さい。

URL : <http://www.sostap.org/>

年会費	法人会員	100,000円
	個人会員	10,000円

東京都品川区東大井5-4-19三井第3ビル102号

